

高円宮杯 JFA U-18 サッカープリンスリーグ 2020 北信越大会要項

1. 主 旨

北信越サッカー協会は、日本サッカーの将来を担うユース(18歳以下)の少年たちのサッカー 技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、第2種加盟チームのすべてが参加できる大会として、本大会を実施する。

2. 名 称

高円宮杯 JFA U-18 サッカープリンスリーグ 2020 北信越

3. 主 催

(一社)北信越サッカー協会

4. 主 管

(一社)長野県サッカー協会・(一社)新潟県サッカー協会・(公社)富山県サッカー協会

(一社)石川県サッカー協会・(一社)福井県サッカー協会

高円宮杯 JFA U-18 サッカープリンスリーグ 2020 北信越実施委員会

5. 後 援

スポーツ庁

(公財)日本サッカー協会

(公財)長野県スポーツ協会・(公財)新潟県スポーツ協会・(公財)富山県体育協会

(公財)石川県体育協会・(公財)福井県スポーツ協会

長野県教育委員会・新潟県・富山県教育委員会・石川県・福井県教育委員会

6. 協 賛

JFA Youth & Development Official Partner

アイリスオーヤマ株式会社、トヨタ自動車株式会社、ニチバン株式会社、株式会社モルテン

7. 試合球

モルテン社製ヴァンタジオ4950(品番:F5A4950)

8. 期 間

2020年 9月6日(日)～11月23日(月・祝)

9. 会 場

(新潟県) 北越高校、帝京長岡高校、新潟明訓高校

(富山県) 富山第一高校、永森記念グラウンド、富山県岩瀬スポーツ公園サッカー・ラグビー場

(石川県) 金沢市民サッカー場、金沢大学 SOLTILO FIELD、星稜高校

(福井県) 丸岡スポーツランド

(長野県) 松本市かりがねサッカー場天然芝グラウンド

10. 参加資格

(1) (公財)日本サッカー協会に第2種登録の加盟または準加盟の単独チームであること。

(2) (公財)日本サッカー協会に個人登録を完了している者。

(3) (公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内の別のチームに所属する選手を移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。なお、

本項の適用対象となる選手の年齢は第3種年代とする。

- (4) 試合に登録することができる外国人選手は、1チーム3名以内とする。準加盟チームについてはその限りとしなない。
- (5) 高体連加盟チームに関しては、高体連主催大会の規定に準じ2001年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、同一学年の高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグへの出場は1回限りとする。なお「出場」とは大会エントリーではなく試合出場を指す。

11. 選手の登録

- (1) 8月28日(金)の18時までに所定の様式で登録担当者〔堀江・辰巳〕・実施委員長〔澁谷〕へメールで送信すること。なお、大会登録人数に制限はない。
- (2) 随時、追加登録については受け付ける。

12. 選手証

各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真(カラー)貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、JFA WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

13. 構成

参加チームは、帝京長岡高校、富山第一高校、丸岡高校、アルビレックス新潟 U-18、北越高校、星稜高校、新潟明訓高校、カタレ富山 U-18、松本山雅 U-18、ツエーゲン金沢 U-18 とする。

14. 競技方法

- (1) 10チームを2グループ(5チームずつ)に分け、1回戦制のグループリーグを行う。その後、各グループリーグ1位・2位(及び3位・4位)同士による順位決定戦(トーナメント方式)を行う。また、各グループリーグ5位同士は1試合のみ実施する。
- (2) リーグの順位決定は、勝ち3点、分け1点、負け0点とする勝ち点制とする。ただし、勝ち点と同じ場合は次の通りに順位決定をする。《得失点差・総得点の多少・当該戦績・抽選》
- (3) 試合時間は、90分間とする。
- (4) 順位決定戦は、90分間で勝敗が決定しない場合、PK方式にて勝敗を決定する。
- (5) 後半のキックオフ時刻は、前半終了より15分後とする。

15. 競技規則

- (1) (公財)日本サッカー協会の「2020/2021 サッカー競技規則」による。
- (2) 各試合の登録選手は25名以下とする。
- (3) 選手の交代は、試合開始前に登録した最大14名の交代要員の中から、5名までの交代が認められる。
- (4) 選手の交代回数の制限
 - ①選手交代は、後半の交代回数を3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)ただし、GKは含まない。
 - ②前半、ハーフタイムでの選手交代は後半の交代回数には含まれない。
- (5) 試合エントリー完了後からキックオフ時刻までの間における選手の変更は、練習中の負傷または急病等やむを得ない事情があり、かつ、主審の承諾を得た場合に限り認められる。
 - ①先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たな選手を控え選手として補充することができる。当該先発予定選手を控え選手に変更することはできないが、ゴールキーパーについては例外として認める。

②控え選手の場合、新たな選手を補充することができる。

- (6) 本大会期間中に警告を2回受けた選手等は、本大会の次の1試合に出場できない。また本大会以外の公式戦には適用されない。
- (7) チームの責に帰すべき事由により試合が開催不能になった場合や試合開始時間に遅れた場合は、開催規程第45・46条に準じる。

16. 懲罰について

- (1) 本大会の懲罰に関しては、別途「育成年代リーグにおける懲罰規定」に定める。

17. ユニフォーム

- (1) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に携行すること。本大会に登録したものを原則とする。
- (2) シャツの前面・背面にメンバー用紙に記載された選手番号を付けること。
- (3) 審判が通常着用する黒色と同一または類似のユニフォームのシャツを用いることはできない。GKについても同様である。
- (4) ユニフォームの広告表示については、(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみこれを認める。
- (5) その他の事項については(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。

18. 表彰

- (1) 優勝チームに表彰状とカップを授与する。準優勝チーム・3位チームに表彰状を授与する。優勝カップは次回までこれを保持する。
- (2) 優秀選手1名(優勝チームより)に表彰状を授与する。
- (3) 前年度優勝チームにレプリカを授与する。

19. 昇降格

- (1) 本年度、昇降格はなしとする。

20. 傷害補償

- (1) 試合会場では応急処置のみ主催者(主管サッカー協会含む)で行う。
- (2) 参加チームは必ず傷害保険、損害賠償保険に加入しておくこと。

21. 感染症対策

- (1) 各チームの選手及び役員に新型コロナウイルスの感染者が出た場合、①当該チームは、実施委員会に直ちに連絡するとともに活動を停止し、その後の活動については実施委員会と協議の上、判断を実施委員会に委ねることとする。②当該チームの感染が確認された日からさかのぼって、この間に対戦もしくは同一会場を使用したチームについては、感染拡大防止の観点から、実施委員会の判断により活動を停止することがある。
- (2) 各チームの選手及び役員並びに選手及び役員の家族が濃厚接触者として特定された場合は、当該の選手及び役員活動を新型コロナウイルス感染者と最後に濃厚接触した日から起算して原則14日間の活動停止とする。
- (3) 各チームの選手は試合当日に自宅等で必ず検温を実施すること。また、各チームにおいては、会場到着時に選手の健康観察(発熱の有無、咳や喉の痛みなど風邪の症状の有無、嗅覚や味覚の異常の有無等)を行い、体調に少しでも異常がある場合は参加を見合わせるなどの対応を取ることとする。検温をしていない選手については検温を行う。なお、平熱を超える発熱(概ね37.5度以上の発熱)がある場合は、自覚症状の有無に関わらず、出場及び会場での活動は認めない。
- (4) 今後の北信越地域における新型コロナウイルスの感染状況や全国の状況等を踏まえて、安全な実施が

困難である場合は、事前及び開催期間中でも大会中止の措置をとることがある。なお、別に定める感染対策を参照しチェックシートを活用すること。

22. その他

- (1) 大会規程に違反し、その他不都合な行為のあったときは、そのチームの出場を停止する。また、そのチームに対する処置は規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (2) ベンチ入りできる人員は 19 名(役員 5 名、交代選手 14 名)を上限とする。
- (3) 各試合、競技開始時間の 80 分前にメンバー用紙 3 部(本部 2 部、相手チーム 1 部)と、登録選手証を提出すること。その後 70 分前に代表者ミーティングを開催する。その際に、ユニフォームの決定、諸注意事項の説明を行う。また本大会要項 10 の(3)において選手を出場させる場合は、クラブ申請承認書(写し可)も持参すること。
- (4) 試合の中止・中断の決定については現場判断とし、その後の処理については実施委員会に於いて都度協議する。
- (5) 荒天時・その他大会運営に支障をきたす諸問題で、大会日程が変更されることもある。
- (6) 本大会要項に記載されていない事項については、本大会実施委員会において協議の上決定する。